

物理的なセキュリティでキャンパス ネットワークの「安心」を守る ケーススタディー 獨協大学

首都圏近郊の近代的なキャンパスに4学部11学科、大学院合わせて8600人以上が在籍する獨協大学は、1996年から全学ネットワーク基盤整備に取り組んでいます。多くの学生がアクセスするキャンパスネットワークの安定稼働に、パンドウイットのセキュリティ製品、パッチコードロックとモジュージャックガードが役立っています。

キャンパスネットワークに対する獨協大学の 取り組みと課題

キャンパスネットワークは物理的に広い範囲をカバーするだけではなく、大勢の、多様なバックグラウンドをもつ利用者からのア

クセスに対応する必要があります。またPC教室や図書館、カフェテリアなど、ネットワークを使用する場所も目的も様々です。このような環境では、思い

もよらぬ問題が発生する場合があります。施設事業部情報基盤整備課 課長補佐の川口直樹氏は以下のよう

に話します。「普段は利用しないポートが使われていたり、共用のプリンターなど抜いてほしくないケーブルが抜かれていたり、こちらが想定していない使われ方がされることがよくあります。またPC教室のケーブルのプラグが、何らかの人為的な操作によって緩んでしまったためにネットワークが断線する障害が発生し、対応をしなければならないケースもあります」。

キャンパスネットワークに求められる信頼性 とは

有線のネットワークは特に広い帯域が必要であったり、通信が途切れると影響が大きい部分で使用されているため、安定性のある、強固なネットワークであることが求められると川口氏は続けます。

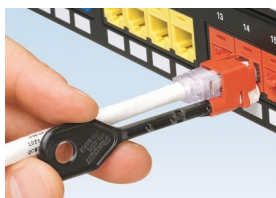
「MAC認証、Web認証などのソフト面のセキュリティだけではカバーできないため、『抜いてはいけない』、『使ってはいけない』ということがどんなユーザーにも容易に判断できる物理的なセキュリティが必要と考えました」。

また一方で川口氏はセキュリティの考え

方として「柔軟性」も留意すべきポイントと述べています。

「グループ学習やアクティブラーニングといったサービスを提供していますが、使い方は学生が工夫します。学生に自由に使うため、制限はできるだけ少ないほうが良い。そのためにセキュリティと柔軟性のバランスを取ることが重要になります。ただし多大なコストをかけるわけにはいきません。パッチコードロック、モジュージャックガードはリーズナブルなコストで求めるセキュリティ性を確保できるので、我々のニーズに合ったソリューションだと思います」。

■パッチコードロック



故意、もしくは不測の事故によって、パッチコードがローゼットやネットワーク機器から外れる事を防止します。専用のカギを

使用することにより、簡単にモジュージャックへの取り付け、取り外しができます。汎用性が高く、ほとんどのRJ45型のプラグに装着することができます。

■モジュージャックガード



ネットワーク機器や情報コンセントなどへの不正な接続を防止します。専用工具以外では取り外せません。高い物理的セキュリティが求められる場所に最適です。



パンドウイットコーポレーション日本支社

<http://www.panduit.co.jp>

本社

東京都港区港南2-13-31

品川NSSビル 〒108-0075

TEL 03-6863-6060

FAX 03-6863-6100

PANDUIT™